

噴火災害に対する取り組み

砂防施設の配置



錦多峰川の火山砂防施設

泥流や土石流による被害を小さくするため、土や砂が川の下流に流れ出すのを止めたり、量を減らしたりする砂防施設を建設しています。市内7渓流に計画的に配置しています。

樽前山火山監視システム



樽前山西ピークの国土地理院GPS(左)と監視カメラ(右)

火山活動を監視カメラで常時観測するほか、泥流を検知するワイヤーセンサーなどを設置して、警戒にあたっています。また、集めた情報を関係機関に伝達する通信網も整備しています。



現在の樽前山の山頂の様子。中央に見えるのが北海道の天然記念物に指定されている溶岩ドーム。

樽前山山頂の火口(A噴火口)の様子。昭和63年の気象庁の観測データでは、A噴火口は短径約20m、長径約30mの大きさになっています。



アルテンからの樽前山。美しく雄大な姿を見せてくれます。

3 噴火の前兆を知ろう

樽前山の噴火はいつ起こるか分かりません。現在、噴火の前兆を知るためのさまざまな取り組みが国や北海道で行われていますが、皆さんが噴火災害に遭わないためには、日ごろから前兆情報を見逃さないことが大切です。北海道防災対策支援システム(下記)などの噴火可能性の情報を素早く入手し、冷静に行動し、安全な所に避難することが最も重要となります。

また、気象庁は平成19年12月1日より、全国で噴火警戒レベル(下記)を導入しました。これは、火山活動の状況を噴火時などの危険範囲や必要な防災対応を踏まえて5段階に区分したものです。住民や登山者・入山者などに必要な防災対応が分かりやすいように、各区分にキーワードをつけて警戒を呼びかけます。噴火警戒レベルは噴火警報および噴火予報で発表します。

4 もし噴火したら

もし、樽前山が噴火しても、慌てる必要はありません。避難が必要な場合は、市で避難指示を発令します。

避難はまず、お住まいの地域の近隣の公園に避難します。その後、小・中学校、高等学校、大学などの指定された避難所に避難することになります。噴火の避難は地震の避難とは異なり、大規模噴火の場合は市外へ、中規模噴火の場合は、市内西部にお住まいの方は東部へ、小規模噴火の場合は近くの避難所に避難することになります。

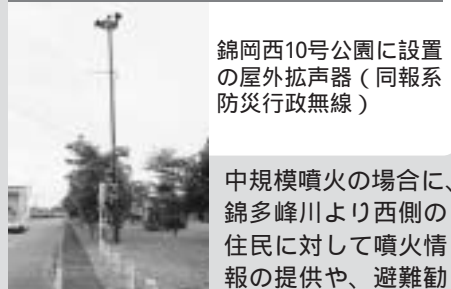
樽前山の噴火が起こらず、安心して暮らせる状況が一番良いのですが、万が一のときのため、非常用品の準備をしておくとともに、日頃から家族で避難場所を話し合っておきましょう。また、正確な情報を得る手段を確認しておくことも大切です。

5 災害を少なくするために

国・道の噴火災害対策

樽前山が中規模以上の噴火をした場合、火山灰や火砕流などが苦小牧市街地を直撃し、JR室蘭線・千歳線や新千歳空港が使用不可能になるなど、大きな影響が懸念されます。国・道の噴火災害対策としては、主要7渓流(苦小牧・小泉の沢・小糸魚・錦多峰・覚生・樽前・

同報系防災行政無線



錦岡西10号公園に設置の屋外拡声器(同報系防災行政無線)

中規模噴火の場合に、錦多峰川より西側の住民に対して噴火情報の提供や、避難勧告のためのスピーカーを市内25カ所に配置しています。屋外拡声器で広範囲に噴火情報をお知らせします。

北海道防災対策支援システム

～ 防災情報をメールで受信できるサービス～

北海道が行っている北海道防災対策支援システムを知っていますか？

事前に登録しておく、防災情報をメール受信することができます。外出先でも情報を入手できますのでぜひ活用してください。

メール配信する情報

火山情報・気象警報・津波警報・避難情報・地震情報
メールは地域・情報を選択することができます。

登録方法

携帯電話から

<http://www.bousai-hokkaido.jp/mobile/>へ

2次元バーコードからもアクセスできます



登録手順

- ① 配信登録を選択→登録を選択→同意・免責事項確認で同意を選択→空メールアドレスを送信
- ② 仮登録確認メールを受信→開封してURLを選択
- ③ 配信希望支庁を選択→受信する内容の詳細を登録→登録内容の確認→完了

登録料や会費は一切かかりませんが、登録・メール受信に係るパケット通信料はかかります。

パソコンからの登録もできます。

<http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc/>へ

詳細は北海道総務部危機対策局防災消防課 ☎011-231-4111(内線22-564)

避難するときには

噴火が始まったらどうやって避難するの？

避難は落ち着いて速やかに行動してください。

- 1 避難時の服装は、ヘルメット、ゴーグルなどを着用しましょう。
- 2 市からの避難の指示に従って、最寄の避難場所(公園など)へ。
- 3 町内会などで点呼をとったら、指定された避難所(学校など)へ。
- 4 市外へ避難が必要な場合は、避難所からバスで移動します。

日ごろから非常用品の準備を！！

リュックなどに入れて準備をしておきましょう。

こんなものを準備しよう

- ヘルメット ●マスク ●ゴーグル ●軍手
- タオル ●懐中電灯 ●ラジオ ●常備薬
- 雨具・防寒具 ●着替え ●ちり紙 ●非常食
- 飲料水 ●預金通帳・印鑑・現金など

噴火警戒レベル

噴火予報および警報で発表する噴火警戒レベルとは？

- 噴火時などにとるべき防災対応の程度を示す5段階の区分です。
- レベルの各段階を表すキーワードにより、必要な防災行動がひと目で分かります。
- 居住地域までを対象とするレベル4および5は、噴火警報(居住地域)で発表します。
- 火口から居住地域の近くまでを対象とするレベル2およびレベル3は、噴火警報(火口周辺)で発表します。
- 噴火警戒レベルを活用した迅速かつ確かな防災対応により、火山災害防止・軽減が期待されます。

予報警報の名称	対象範囲	レベルとキーワード
噴火警報 (居住地域) ↓略称↓ 噴火警報	居住地域およびそれより火口側	レベル5 避難
		レベル4 避難準備
噴火警報 (火口周辺) ↓略称↓ 火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	レベル3 入山規制
	火口から少し離れたところまでの火口周辺	レベル2 火口周辺規制
噴火予報	火口内等	レベル1 平常

現在の樽前山噴火警戒レベルは「レベル1」

別々川)に砂防施設を計画的に配置するとともに、樽前山火山監視システムの整備を行っています。

市の噴火災害対策

市では、近隣3市(苦小牧市、千歳市、恵庭市)4町(白老町、安平町、むかわ町、厚真町)と関係機関からなる樽前山火山防災会議協議会を設置し、広範囲に影響を及ぼす火山噴火に対応するため「樽前山火山防災計画」を平成14年6月に策定し、噴火災害に備えています。

また、樽前山の中規模噴火を想定し、錦多峰川より西から別々川までの地区内を対象に、屋外拡声器で広範囲に情報を流すことができる同報系防災行政無線を25基配

備しています。さらに、樽前地区の家屋を対象に、同報系防災行政無線を受信できる個別受信機を約170台設置し、噴火災害を少なくするための取り組みをしています。

現在、樽前山の噴火災害に対するさまざまな取り組みが行われていますが、私たちは噴火を防ぐことは不可能です。しかし、噴火の前兆情報を知り、適切に避難をすることで、被害を最小限にすることは可能です。火山防災の第一歩は噴火情報を知ることといえます。

9月1日は「防災の日」です。私たちのまちにある「樽前山」をきつかけに、今一度、災害から身を守る防災について考えてみませんか。